



# Victor



LYT2222-001A-M

準備する

撮影する

再生する

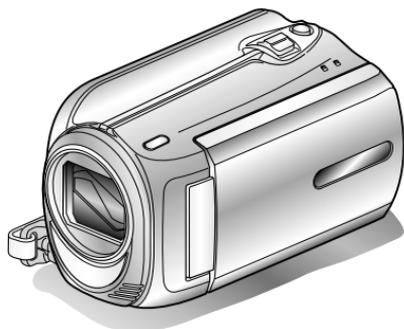
保存する

その他

ビデオカメラ

型名 **GZ-MG760**

## 基本取扱説明書



# Everio

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.2) および「使用上のご注意」(P.31) を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

本製品には、「基本取扱説明書(本書)」と「Web ユーザーガイド」があります。

Web ユーザーガイド



いろいろな場面での撮影のしかたや便利な機能について、すべての内容を説明しています。

■ パソコンから下記アドレスにアクセスする

<http://manual.jvc.co.jp/c0e3/lyt2150-002jp>

**HDD**

micro  
S2  
HD

DOLBY  
DIGITAL  
STEREO CREATOR

# 安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

## 絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
 感電注意	 分解禁止	
	 ぬれ手禁止	
	 水場での使用禁止	

### 万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などがに入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

### バッテリーをはずす

#### 電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。  
販売店に修理を依頼してください。  
お客様による点検、整備、修理は危険です。

**危険** 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」  
内容を示しています。

### バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いほしない

- プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
  - 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
  - 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
  - 高温 (60℃以上) になる場所に置く
- ・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
- ・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
- ・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
- ・ バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
- ・ 幼児の手の届くところには置かないでください。

- 変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用しないで処分する
- そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については32ページをご覧ください。)

**警告** 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

- 内部に物を入れない  
・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。
- レンズを直射日光などに向けない  
・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。
- 乗り物を運転中に使用しない  
・ 交通事故の原因になります。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない  
・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。  
・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。



**警告** 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



分解禁止

**分解・改造をしない**  
・火災や感電の原因になります。



禁止

**付属のACアダプター以外は使用しない**  
・火災や感電、故障の原因になります。



一般的注意

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**  
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



一般的注意

**電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む**  
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



禁止

**電源コードを傷つけない**  
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

**電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない**  
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**  
・感電の原因になります。



感電注意

**雷がなったら、電源プラグには触らない**  
・感電の原因になります。



一般的指示

**ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る**  
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。



**注意** 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



一般的指示

**5年に1度は内部の点検を販売店に相談する**  
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。



一般的指示

**病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う**  
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



一般的指示

**グリップベルトをゆるんだまま使用しない**  
・落下によるけがや故障の原因になります。  
また、お様は大人と一緒にお使いください。



一般的指示

**三脚を確実に取り付ける**  
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください。  
しっかりと取り付けてください。



一般的指示

**移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす**  
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



一般的指示

**長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす**  
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。



禁止

**湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない**  
・火災や感電、故障の原因になります。



禁止

**熱源の近くでは、使用しない**  
・火災や故障の原因になります。

# もくじ

安全上のご注意 .....	2	テレビで映像を見る .....	15
もくじ .....	4	▶保存する .....	16
付属品を確認する .....	4	いろいろな保存のしかた .....	16
各部のなまえとはたらき .....	5	DVDライターでディスクを作る .....	17
▶準備する .....	6	DVDレコーダーやビデオデッキにつな いでダビングする .....	20
バッテリーを充電する .....	6	パソコンに保存する .....	21
グリップベルトを調節する .....	7	▶その他 .....	24
時計を合わせる .....	8	メニューの使いかた .....	24
▶撮影する .....	10	撮影時間/枚数の目安 .....	28
動画を撮る .....	10	故障かな！？と思ったら .....	29
静止画を撮る .....	11	使用上のご注意 .....	31
microSD カードに記録するには .....	12	仕様 .....	33
▶再生する .....	14	保証とアフターサービス .....	34
本機で映像を見る/削除する .....	14		

## ▶一歩進んだ使いかたを知りたいときは

パソコンで見る「Web ユーザーガイド」を使って、使いかたを調べてみましょう。

■ パソコンから下記アドレスにアクセスする

<http://manual.jvc.co.jp/c0e3/lyt2150-002jp>

## 付属品を確認する

AC アダプター  
AP-V30※



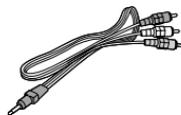
バッテリーパック  
BN-VG107



専用 USB ケーブル  
(A タイプ-ミニ B タイプ)



専用 AV コード



CD-ROM



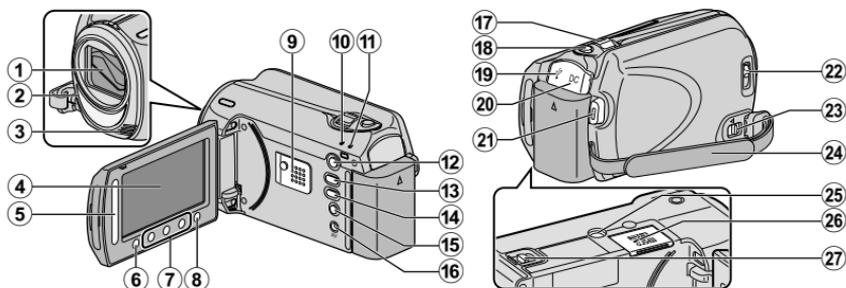
基本取扱説明書  
(本書)



● microSD カードは別売です。  
本機で使えるカードの種類については、P.12 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

# 各部のなまえとはたらき

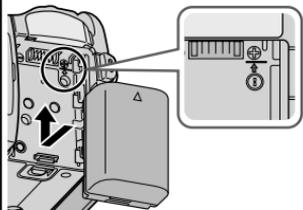


- ① レンズ/レンズカバー
- ② ライト
- ③ ステレオマイク
- ④ 液晶モニター  
開閉すると、電源を入/切できます。
- ⑤ スライダー  
画像や項目を選びます。
- ⑥ OK ボタン  
選んだ画像や項目を決定します。
- ⑦ 操作ボタン  
機能によって操作ボタンが異なります。
- ⑧ Menu (メニュー) ボタン (P.24)
- ⑨ スピーカー
- ⑩ ACCESS (アクセス) ランプ  
記録中や再生中に点灯/点滅します。
- ⑪ POWER/CHARGE (電源/充電) ランプ (P.6)
- ⑫ (再生) ボタン  
撮影と再生を切り換えます。
- ⑬ (動画/静止画) ボタン  
動画/静止画を切り換えます。
- ⑭ UPLOAD/EXPORT  
(アップロード/iTunes 転送) ボタン  
撮影: YouTube や iTunes 用の動画を撮ります。  
再生: YouTube や iTunes 用の動画に変更します。
- ⑮ (電源/情報) ボタン  
撮影: 残量時間や連続撮影時のバッテリー残量を表示します。  
再生: ファイル情報を表示します。  
長押しすると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。
- ⑯ AV 端子 (P.15、P.20)
- ⑰ ズーム/音量レバー (P.10、P.14)
- ⑱ SNAPSHOT (静止画 撮影) ボタン (P.11)
- ⑲ USB 端子 (P.23)
- ⑳ DC 端子 (P.6)
- ㉑ START/STOP (動画 録画) ボタン (P.10)
- ㉒ レンズカバースイッチ (P.10)
- ㉓ グリップベルト取りはずしレバー
- ㉔ グリップベルト (P.7)
- ㉕ 三脚取り付け穴
- ㉖ microSD カードスロット (P.12)
- ㉗ バッテリー取りはずしレバー (P.6)

## バッテリーを充電する

### 1 バッテリーを取り付ける

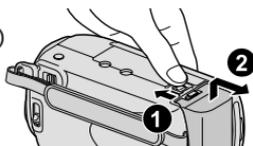
※ ご購入時のバッテリーは、充電されていません。



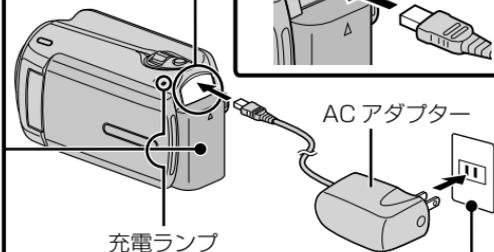
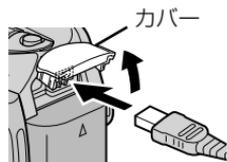
- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

### ■ 取りはずすとき

(底面)



### 2 DC 端子につなぐ



### 3 コンセントにつなぐ

充電ランプ



充電中 : 点滅

充電完了 : 消灯

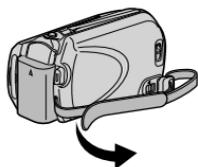
### ご注意

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約 1 時間 50 分（付属バッテリーの場合）

※ 室温 10℃ ~ 35℃ の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。

## グリップベルトを調節する



① ベルトをめくる



② 長さを調節する



③ ベルトをしめる

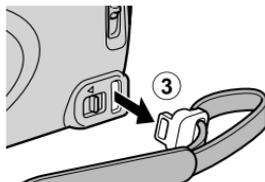
## ハンドストラップとして使う

ストラップをはずして、手首を通してください。

① を押しながら、② をスライドすると、ストラップがはずれます。



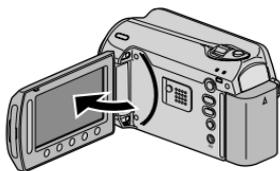
押しながら



- ハンドストラップを取り付けるときは、③ を「カチッ」と音がするまで差し込みます。

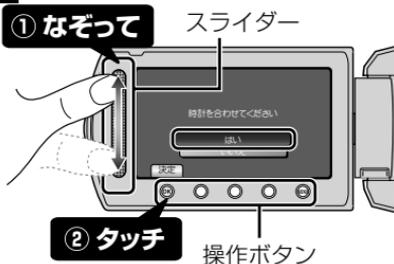
# 時計を合わせる

## 1 液晶モニターを開く



- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

## 2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"を選んで、**OK**をタッチする



- 選ぶときは、スライダーをなぞり、操作ボタンを軽くタッチして決定します。

## 3 日時を設定する

カーソル



- スライダーで、年、月、日、時、分を合わせます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、カーソルを移動できます。

## 4 日時設定が終わったら、**OK**をタッチする

## 5 お住まいの地域を設定して、**OK**をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。



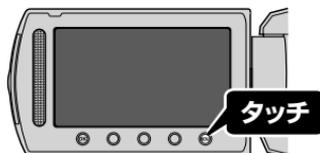
### お知らせ

- 画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。
- 長期間使用しないと"時計を合わせてください"が表示されます。24時間以上充電してから、時計を設定してください。(P.6)

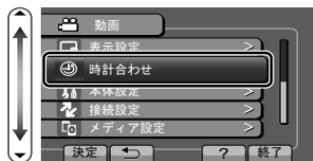
## ■ 時計を合わせ直すときは

メニューの"時計合わせ"から時計を合わせてください。

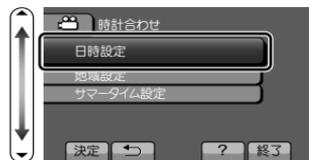
### ① メニューを表示する



### ② "時計合わせ"を選んで、OK をタッチする



### ③ "日時設定"を選んで、OK をタッチする



- 以降の設定のしかたは、前ページの手順 3~5 と同じです。

## 動画を撮る

オートで撮影すれば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。  
大切な撮影をする前には、試し撮りすることをおすすめします。

**1** レンズカバーを開ける



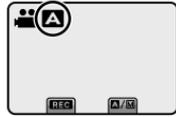
**2** 動画を選ぶ



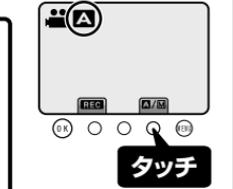
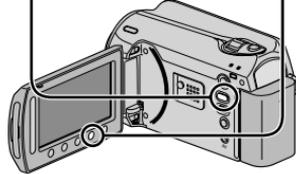
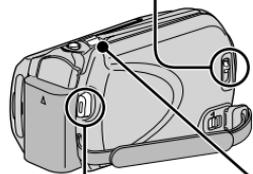
押す

**3** 撮影モードが **A** オートか確認する

- **M** マニュアルになっているときは、**A/M** ボタンをタッチして切り換えます。
- タッチするたびに、オートとマニュアルが切り替わります。



タッチ



ズームを使う

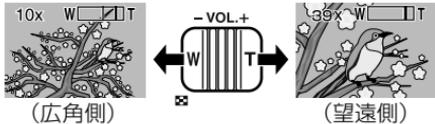
**4** 撮影する

START /STOP

- もう一度押すと、停止します。



押す



### ■ 動画撮影中の表示



動画画質      撮影可能時間

シーンカウンター      0 : 00 : 00      [29h00m]

● || : 停止中

● REC : 録画中

HDD : 記録メディア

● ■ ■ ■ : バッテリー残量

### お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 40 分です。( P.28)

## 手ぶれを補正して撮る（動画撮影のみ）

手ぶれ補正を設定すると、動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。



- ① 通常モード : 手ぶれを補正します。  
② アクティブモード : 広角側での手ぶれ補正効果が大きくなります。歩きながらの撮影にも有効です。

### お知らせ

- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、"OFF"にすることをおすすめします。
- 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。

## 静止画を撮る

### 1 静止画を選ぶ



### 2 被写体にピントを合わせる



### 3 シャッターを切る



### ■ 静止画撮影中の表示



# microSDカードに記録するには

市販の microSD カードを入れておくと、ハードディスク (HDD) の撮影可能時間に余裕がなくなったときでも、カードに映像を記録できます。

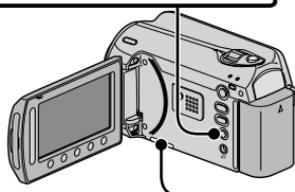
※ カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(P.13)

カードがない場合は、メディア設定を「HDD」にして撮影してください。

- 1 電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切る



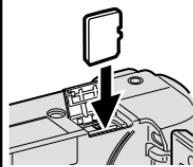
長押し



※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

- 2 カバーを開ける

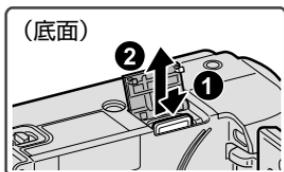
- 3 microSD カードを入れる



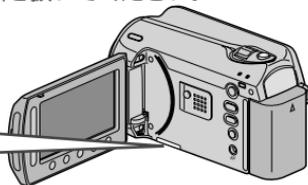
(底面)

## ■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。



(底面)



## お知らせ

次の microSD カードで動作を確認しています。

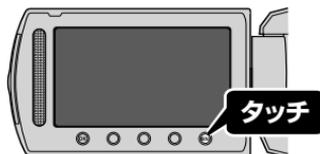
メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)、ATP
動画	Class 4 以上対応の microSDHC カード (4GB~8GB)
静止画	microSD カード (256MB~2GB)、または microSDHC カード (4GB~8GB)

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

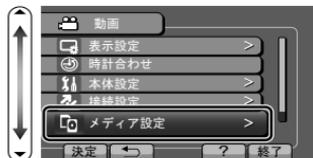
## ■ microSD カードを使うときは

メディア設定の"動画メディア設定"または"静止画メディア設定"を"SD"に変更すると、カードを使って記録や再生ができます。

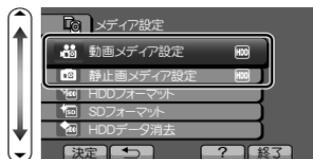
- ① **MENU** をタッチして、メニューを表示する



- ② "メディア設定"を選んで、**OK** をタッチする



- ③ "動画メディア設定"または"静止画メディア設定"を選んで、**OK** をタッチする



- ④ "SD"を選んで、**OK** をタッチする



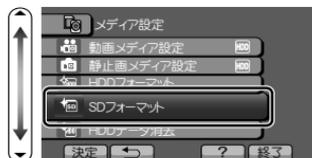
## ■ ほかの機器で使っていた microSD カードをはじめて使うときは

メディア設定の"SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

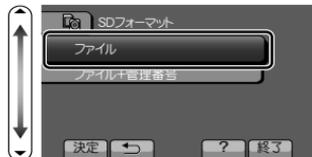
- ① **MENU** をタッチして、メニューを表示する

- ② "メディア設定"を選んで、**OK** をタッチする

- ③ "SDフォーマット"を選んで、**OK** をタッチする



- ④ ファイルを選んで、**OK** をタッチする



- ⑤ "はい"を選んで、**OK** をタッチする

- ⑥ フォーマットが終わったら、**OK** をタッチする

## 本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示（サムネイル表示）から選んで再生します。  
メディア設定（P.13）で設定しているメディアの内容が一覧表示されます。

### 1 再生モードにする



### 2 動画または静止画を選ぶ



### 3 映像を再生する

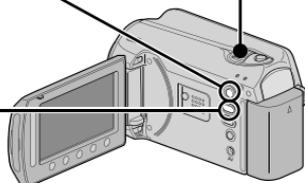
① 選んで 再生中のメディア



② タッチ

- 停止するとき、■ をタッチします。

音量を調節する  
-VOL.+



### ■ 不要な映像を削除するには

① 選んで



② タッチ

- 確認メッセージが出たら、「はい」を選んで、OK をタッチします。

### ■ 再生の1コマを静止画にするとき

一時停止中に SNAPSHOT ボタンを押します。

### ■ 再生中に使える操作ボタン

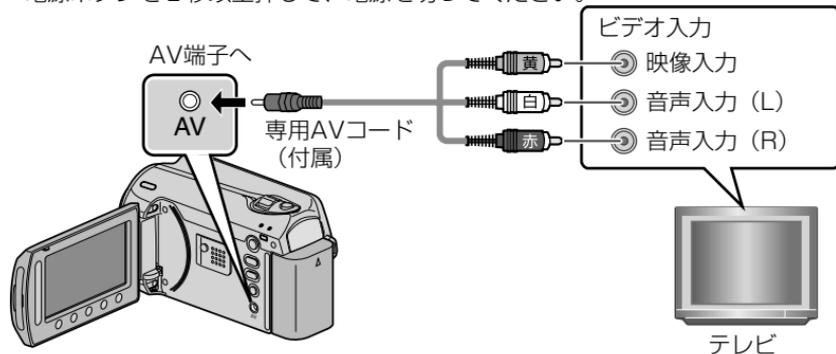
画面表示	動画再生中	静止画再生中
▶ /	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
■	停止（サムネイルに戻る）	停止（サムネイルに戻る）
▶▶	次の動画に進む	次の静止画に進む
◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	—
◀◀	早戻し	—
▶	一時停止中にコマ送り	—
◀	一時停止中にコマ戻し	—

# テレビで映像を見る

## 1 テレビに接続する

※ テレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源ボタンを2秒以上押して、電源を切ってください。



## 2 ACアダプターをつなぐ (P.6)

- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

## 3 テレビの入力切換を選ぶ

## 4 映像を再生する (P.14)

### ■ 日時などを表示して再生したいときは

接続設定メニューの"テレビ表示"を"入"に変更してください。(P.27)

また、再生メニューの"画面表示"を"すべて表示"または"日付のみ表示"にしてください。(P.26)

### ■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ケーブルを抜き差ししてください。</li><li>本機の電源を入れ直してください。</li></ul>
テレビに縦長に映る	接続設定メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。(P.27)
テレビに横長に映る	テレビ側で画面を調整してください。

### お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

## いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

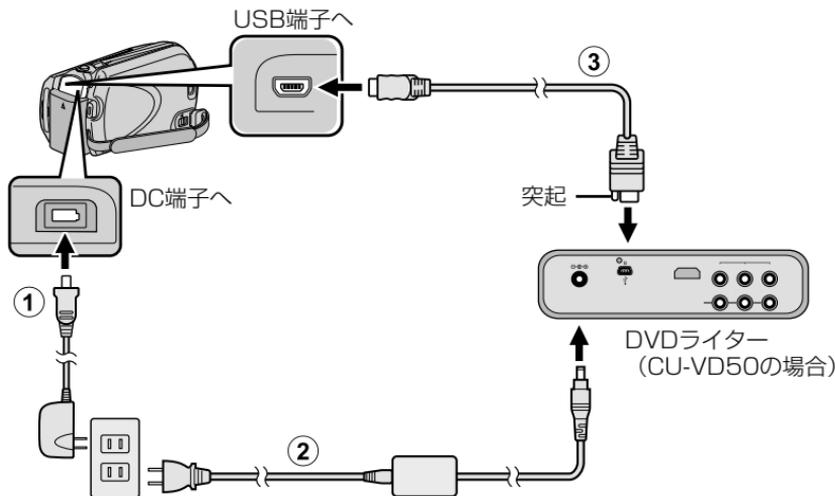
使用する機器		VHS	DVD	HDD	参照ページ
DVDライターでディスクを作る	DVDライター 	—	○	—	P.17
DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする	DVDレコーダー 	○	○	○	P.20
	ビデオデッキ 	○	—	—	P.20
パソコンに保存する		—	○※	○	P.21

※ パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

# DVDライターでディスクを作る

## 1 液晶モニターを閉じてから、接続する

- ① 本機に AC アダプターをつなぐ
- ② DVDライターに AC アダプターをつなぐ
- ③ DVDライター付属の USB ケーブルをつなぐ



※ DVD ライターの取扱説明書もご覧ください。

## 2 DVD ライターの電源を入れ、新しいディスクを入れる

## 3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、DVD作成メニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、DVD作成メニューが表示されます。

## ■ 作成したディスクを再生するには

市販の DVD プレーヤーなどで再生できます。

## ■ 対応する DVD ライター

- CU-VD50
- CU-VD3

### お知らせ

- DVD に記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
- 本機との接続中は、DVD ライター (CU-VD50) のボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、機能しません。

準備する

撮影する

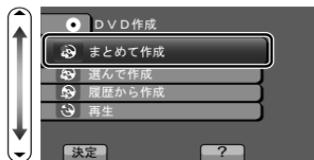
再生する

保存する

その他

# まとめて保存する

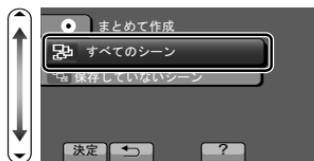
1 "まとめて作成"を選んで、**OK** をタッチする



2 保存するメディアを選ぶ



3 作成方法を選んで、**OK** をタッチする



"すべてのシーン":

本機内にあるすべての動画を保存します。

"保存していないシーン":

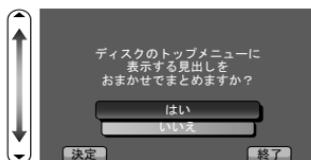
一度も保存していない動画をまとめて保存します。

4 "すべて"を選んで、**OK** をタッチする



必要なディスクの枚数

5 どちらかを選んで、**OK** をタッチする



"はい" : 撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。

"いいえ" : 撮影日単位でまとめた見出しにします。

6 "作成する"を選んで、**OK** をタッチする

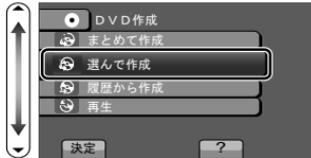
- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

7 作成が終わったら、**OK** をタッチする

8 液晶モニターを閉じてから、USBケーブルを抜く

# 選んで保存する

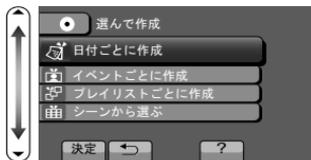
## 1 "選んで作成"を選んで、**OK** をタッチする



## 2 保存するメディアを選ぶ



## 3 作成方法を選んで、**OK** をタッチする



"日付ごとに作成":  
撮影した日付ごとに動画をまとめて保存します。

▶ **A** へ

"イベントごとに作成"※:  
登録したイベントごとに動画をまとめて保存します。

"プレイリストごとに作成"※:  
作成したプレイリストを選んで保存します。

"シーンから選ぶ":  
保存したい動画を選んで保存します。

▶ **B** へ

"履歴から作成"※:  
一度作成したディスクと同じ内容のディスクを作成します。

※ 詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください。

## A 日付ごとに作成

### ① 撮影日を選んで、**OK** をタッチする



- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4~8 と同じです。

## B シーンから選ぶ

### ① ファイルを選ぶ



チェックマーク

- OK** (✓) をタッチすると、チェックマークが付きます。
- ② ファイルを選び終わったら、「保存」をタッチする
- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4~8 と同じです。

## ■ 作ったディスクを確認するとき

手順 1 で"再生"を選びます。

### ご注意

- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

準備する

撮影する

再生する

保存する

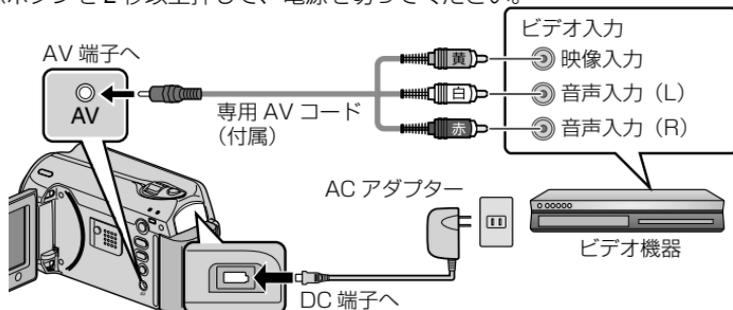
その他

# DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVDレコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。テレビやDVDレコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

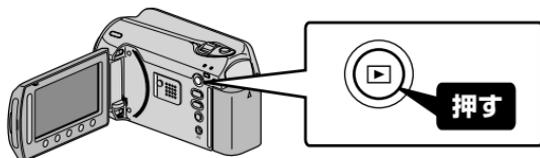
## 1 ビデオ機器に接続する

- 電源ボタンを2秒以上押して、電源を切ってください。



- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

## 2 再生モードにする



## 3 録画の準備をする

### テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-Rやビデオテープなどを入れます。

### 本機の準備

- 接続設定メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比 ("4:3"または"16:9") に合わせます。(P.27)
- 日付も一緒にダビングしたいときは、接続設定メニューの"テレビ表示"を"入"にします。(P.27)  
また、再生メニューの"画面表示"を"日付のみ表示"にしてください。(P.26)



## 4 録画を開始する

- 本機で動画を再生 (P.14) し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、録画を停止してください。

# パソコンに保存する

## パソコンの性能（目安）を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。

スタートメニューのコンピュータ（またはマイコンピュータ）を右クリックし、プロパティを選んで次の項目を確認してください。

### ■ Windows Vista / Windows 7 の場合



- Windows Vista Home Basic または Home Premium (共にプリインストール版のみ)
- Windows 7 Home Premium (プリインストール版のみ)
- Service Pack 2 (Windows Vistaのみ)
- プロセッサ：
  - Intel Core Duo CPU 1.5 GHz 以上
  - Intel Pentium 4 CPU 1.6 GHz 以上
  - Intel Pentium M CPU 1.4 GHz 以上
- メモリー：1 GB (1024 MB) 以上
- システムの種類：32ビット/64ビット

### ■ Windows XP の場合



- Windows XP Home Edition または Professional (共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 3
- プロセッサ：
  - Intel Core Duo CPU 1.5 GHz 以上
  - Intel Pentium 4 CPU 1.6 GHz 以上
  - Intel Pentium M CPU 1.4 GHz 以上
- メモリー：512 MB 以上

### お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。DVDライター（別売）のご利用をおすすめします。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

# 付属ソフトをインストールする

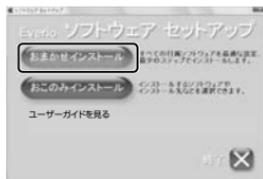
付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

## 1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

(Windows Vista / Windows 7 のみ)

- ① 自動再生画面で"INSTALL.EXE の実行"をクリックする。
- ② ユーザーアカウント制御画面で"続行"をクリックする。
  - しばらくすると"ソフトウェアセットアップ"が表示されます。
  - 表示されないときは、マイコンピュータのなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

## 2 "おまかせインストール"をクリックする



- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

### お知らせ

Web ユーザーガイドをご覧になるには

- インターネットに接続し、  
"ユーザーガイドを見る"をクリックします。

## 3 "完了"をクリックする

## 4 "終了"をクリックする

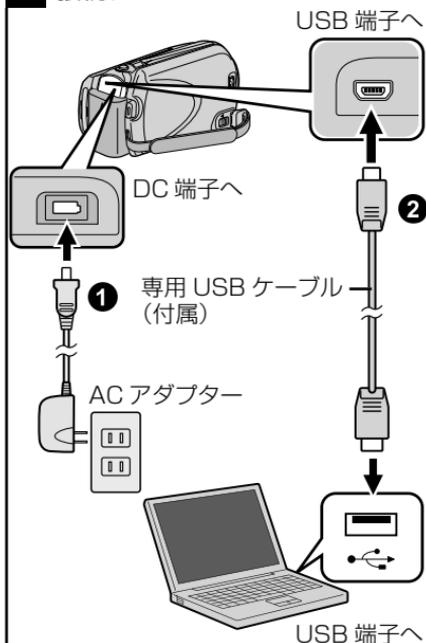


- Everio MediaBrowser のインストールが終了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

# すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンのHDDに十分な空き容量があることを確認してください。

## 1 USBケーブルとACアダプターを接続する



## 2 液晶モニターを開く

## 3 "バックアップする"を選んで、OKをタッチする



- パソコンで付属ソフトの Everio MediaBrowser が立ち上がります。以降の手順は、パソコンで操作します。

## 4 ボリュームを選ぶ



## 5 バックアップを開始する

ファイルの保存先 (パソコン)



## 6 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

## ■ 本機をパソコンから取りはずすとき

- ① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

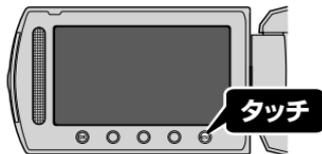


- ② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする
- ③ (Windows Vista の場合) "OK"をクリックする
- ④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

# メニューの使いかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

## 1 メニューを表示する



- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

## 2 設定したいメニューを選んで、OKをタッチする



## 3 設定を変更して、OKをタッチする



### ■ 設定を終了するとき

「 (終了)」をタッチします。

### ■ 一つ前の画面に戻るとき

「」をタッチします。

### ■ ヘルプを表示するとき

「」をタッチします。

- ヘルプの表示がない場合があります。

# 設定メニュー一覧

## ■ 動画撮影メニュー※

### マニュアル設定

- 撮影の設定を手動で設定できます。  
(マニュアル撮影時のみ表示されます)
- ▶ マニュアル撮影モードに変更するには (P.10)
- ▶ マニュアル設定メニュー (P.25)

### ライト

- ライトの点灯/消灯を設定します。

### イベント登録

- 動画撮影前に登録すると、イベント(旅行、運動会など)に分類できます。

### 動画画質

- 動画画質を設定します。

### ズーム倍率

- ズームの最大倍率を設定します。

### 感度アップ

- 暗いところで自動的に明るく調節します。  
(静止画とは別に設定できます)

### タイムラプス撮影

- 一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

### フレームイン REC

- 液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

### ワイド撮影切替

- 画面比を 16:9 または 4:3 にして撮影できます。

### ウィンドカット

- 風の音を低減します。

### 時計合わせ

- 現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

## ■ 静止画撮影メニュー ※

## マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。  
 (マニュアル撮影時のみ表示されます)  
 ➔ マニュアル撮影モードに変更するには  
 (P.10)  
 ➔ マニュアル設定メニュー (P.25)

## ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

## セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

## シャッターモード

連写を設定できます。

## 静止画画質

静止画画質を設定します。

## 感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。  
 (動画とは別に設定できます)

## フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き (明るさ) の変化を感知して、自動的に静止画の撮影をします。

## 時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

## M マニュアル設定メニュー

## シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。  
 ☒ ナイトアイ：周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。  
 ☒ 夜景：夜景を自然な感じに撮影できます。  
 ☒ ポートレート：背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。  
 ☒ スポーツ：動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮影できます。  
 ☒ スノー：晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。  
 ☒ スポットライト：ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

## フォーカス

手動でピント合わせできます。

## 明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。  
 (動画と静止画で別々に設定できます)

## シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。  
 (動画と静止画で別々に設定できます)

## ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます

## 逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します

## 測光エリア

明るさの基準を測るエリアを設定します

## エフェクト

白黒映像やセピア色などの効果を付けて撮影します。  
 (動画と静止画で別々に設定できます)

## テレマクロ

ズームの望遠 (T) 側のときに接写できるようになります。

※ 「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、P.27 をご覧ください。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- 2 階層目の項目は、1 階層目にある項目を選ぶと、表示されます。
- メニューの使いかたは、P.24 をご覧ください。

## ■ 動画再生メニュー ※

### 削除

不要な動画を削除します。

### ピクチャータイトル

作成したプレイリストにピクチャータイトルを付けられます。

### 検索

グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込みます。

### プレイリスト再生

プレイリストを再生します。

### プレイリスト編集

プレイリストを作成または編集します。

### MPG ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

### 編集

- コピー：  
別のメディアにコピーします。
- ⇄ ムーブ：  
別のメディアに移動します。
- 🔒 プロテクト/解除：  
誤消去防止のプロテクトを付けます。
- ✂ トリミング：  
動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します。
- 📅 イベント変更：  
一度記録したイベントを変更します。

### 画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

### 時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

## ■ 静止画再生メニュー ※

### 削除

不要な静止画を削除します。

### 日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

### 編集

- コピー：  
別のメディアにコピーします。
- ⇄ ムーブ：  
別のメディアに移動します。
- 🔒 プロテクト/解除：  
誤消去防止のプロテクトを付けます。

### スライドショー効果

スライドショーの切り替え効果を設定します。

### 画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

### 時計合わせ

現時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

- ※ 「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、P.27 をご覧ください。

## 表示設定メニュー

### 日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示 (24h/12h) を設定します。

### モニター明るさ調整

画面の明るさを調整します。

### モニターバックライト

モニターのバックライトを設定します。

## 本体設定メニュー

### デモモード

本機の機能のデモを再生できます。

### オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

### 操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

### 録画ボタン

画面に「録画」ボタンを表示し、START/STOP ボタンの代わりに使うことができます。

### 高速起動

5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

### 落下検出

HDDの破損を防ぐため、本機を落とすと撮影や再生を停止します。

### ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

### 工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

## 接続設定メニュー

### テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

### ビデオ出力

接続するテレビに合わせて画面比 (16:9 または 4:3) に設定します。

## メディア設定メニュー

### 動画メディア設定

動画を記録/再生するメディアを設定します。

### 静止画メディア設定

静止画を記録/再生するメディアを設定します。

### HDD フォーマット

HDDのファイルをすべて消去 (初期化) します。

### SD フォーマット

SDカードのファイルをすべて消去 (初期化) します。

### HDD データ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

# 撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間や撮影時間は、 (電源/情報) ボタンを押すと確認できます。

## 動画の撮影可能時間の目安

画質	HDD (120GB)	microSD カード	
		4 GB	8 GB
ウルトラファイン	28 時間 40 分	56 分	1 時間 50 分
ファイン	42 時間 40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分
ノーマル	56 時間 20 分	1 時間 45 分	3 時間 45 分
エコノミー	150 時間	4 時間 55 分	10 時間

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

## 静止画の撮影可能枚数の目安 (単位: 枚)

 静止画	画像サイズ	画質モード	microSD カード			
			512 MB	1 GB	2 GB	4 GB
	832x624 (4:3)	ファイン	1960	3970	7600	9999
		スタンダード	2940	5950	9999	9999
	640x480 (4:3)	ファイン	2940	5950	9999	9999
		スタンダード	4210	8510	9999	9999
	640x360 (16:9)	ファイン	3680	7440	9999	9999
		スタンダード	4910	9930	9999	9999

- 8GB の microSD カードには (画像サイズや画質などに関わらず) 9999 枚まで撮影できます。

## 撮影時間の目安 (バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG107	40 分	1 時間 10 分
BN-VG114	1 時間 25 分	2 時間 30 分
BN-VG121	2 時間 5 分	3 時間 50 分

- "ライト"が"切"、"モニターバックライト"が"標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

# 故障かな！？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度、以下の表および Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご確認ください。それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス（裏表紙参照）にお問い合わせください。

なお、ビクターホームページ (<http://www.victor.co.jp/>) から最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

## ■ 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズなどによりエラー表示や正常に動作しないことがあります

そのときは下記の手順で本機をリセットしてからお使いください。

- ① 電源を切る。（液晶モニターを閉じる）
- ② 電源（バッテリーと AC アダプター）をいったん取りはずす。

## こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ	
電源	画面を閉じると電源/充電ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーの充電中です。</li> </ul>	P.6	
	撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  /  ボタンを確認してください。</li> <li>●  ボタンで撮影モードにしてください。</li> </ul>	P.10 P.14	
撮影中	勝手に撮影が停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。（本機の温度が上がると、HDD や回路の保護のため自動的に停止します）</li> <li>● 大音量の場所や、振動する場所から移動してください。</li> <li>● 市販の microSD カードを入れ、メディア設定メニューの"動画メディア設定"と"静止画メディア設定"を、それぞれ"SD"にしてください。（HDD が故障している可能性があります）</li> <li>● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。</li> </ul>	- - P.13 -	
		日時表示がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "画面表示"を設定してください。</li> </ul>	P.26
		音や映像が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。</li> </ul>	-
再生				

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

その他	充電中、ランプが点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません)</li> <li>• 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります)</li> </ul>	P.10 P.6
	スライダーや操作ボタンがきかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手袋などをはずしてください。</li> <li>• 指で触れて操作してください。(爪やペン先などでは、操作できません)</li> </ul>	- -
	本機が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります)</li> </ul>	-

## こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
記録を中止しました / HDDへ記録できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の電源を入れ直してください。</li> <li>• メディア設定メニューの「動画メディア設定」で「SD」を選んでください。(microSD カードに記録します)</li> <li>• 振動や衝撃を与えないようにしてください。</li> </ul>	- P.13 -
未対応のシーン(ファイル)です	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機で記録したファイルを使ってください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。本機で記録したファイルの場合、ファイルが壊れています)</li> </ul>	-
撮影データが少ないため保存できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。</li> </ul>	-
カメラの温度が低すぎます カメラの電源を入れたままお待ちください	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源を入れた状態でしばらく放置してください。それでも表示が消えないときは一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動して、しばらくしてから電源を入れてください。</li> </ul>	-

# 使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えたり、大きな音のする場所や気圧の低い場所(海拔3000m以上)での使用などはしないでください。  
ハードディスク(HDD)が認識されなくなったり、記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。  
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。  
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(ハードディスク)やmicroSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。  
この処理は、お客様の責任において行ってください。  
万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

## バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。  
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。  
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。  
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

## 著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 他社製品の登録商標と商標について

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- YouTube と YouTube ロゴは、YouTube LLC. の商標および商標登録です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPod、iTunes は、米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeron は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

## イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

# 仕様

カメラ本体	
電源	AC アダプター使用時：DC 5.2 V、 バッテリー使用時：DC 3.6 V
消費電力	1.8 W (ライトが"切"、モニターバックライトが"標準"の場合)
外形寸法 (mm)	53×63×110 (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)
質量	約 250 g (本体のみ)、約 280 g (付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：-20℃～50℃ 許容相対湿度：35%～80%
映像素子	1/6 型 80 万画素
撮像エリア(動画)	41 万画素 (光学ズーム) 41 万～55 万画素 (ダイナミックズーム)
撮像エリア(静止画)	55 万画素
レンズ	F1.8～F4.3、f=2.2mm～85.8mm (35mm カメラ換算 41.5mm～1619mm)
ズーム(動画)	光学ズーム：等倍～39 倍 ダイナミックズーム：～45 倍 デジタルズーム：～800 倍
ズーム(静止画)	光学ズーム：等倍～39 倍
動画記録方式	SD-VIDEO 規格準拠、映像：MPEG-2、音声：Dolby Digital (2 ch)
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	内蔵ハードディスク (120 GB)、 microSD/microSDHC カード (市販)
時計用電池	二次電池
AC アダプター (AP-V30) ※	
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1.8 A
許容動作温度	0℃～40℃ (充電時は 10℃～35℃)
外形寸法 (mm)	78×34×46 (幅×高さ×奥行き：コードと AC プラグを含まず)
質量	約 107 g

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

# 保証とアフターサービス

## 修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな！？と思ったら…」(P.29) にしたがって、まずはお確かください。  
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを  
取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

### ■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

### ■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

## 保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。  
保証書は大切に保管してください。

## 性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ご相談窓口における 個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

## 免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。



## ■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

### ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは  
ビデオカメラサポート情報  
<http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/>

### 付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

#### ピクセラユーザーサポートセンター

 **0570-02-3500**  
(ナビダイヤルが使用できない場合)  
**06-6633-2990**

ホームページ  
<http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/>

### 取扱い方法などのご相談

#### お客様ご相談センター

 **0120-2828-17**

- 電話番号を良くお確かめの<sup>上</sup>、  
おかけ間違いのないようご注意  
ください
- 携帯電話・PHSなどからは、  
次の電話番号をご利用ください  
045-450-8950

### 修理や付属品購入などのご相談

同梱の青い紙の

#### 「ビクターサービス窓口案内」

に記載されている最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.34をご覧ください。



**ユーザー登録**  
のすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の  
提供サービスなどをご利用いただけます。

<http://www.victor.co.jp/reg/>

## 日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12